

☆親子読書の感想をご紹介します☆

<本の題名>もりの100かいだてのいえ

<子どもの感想>71かいにだれもないかとおもって、びっくりしました。でもナナフシさんがいました。ナナフシさんをはじめてしりました。たくさんどうぶつがでてきて、たのしかったです。

<家の人の感想>字がすらすらと読めるようになり、長いお話を最後まで自分で読めました。カタカナも読めるようになり、すごい！お話は、「次の階はだれが住んでいるかなあ？」と、親子で楽しみながら読みました。

(1年生Tさん)

<本の題名>やぎこせんせい、いちねんせい

<子どもの感想>やぎこせんせいの、えんそくのばめんがたのしかったです。あと、とても1ねんせいむけでたのしかったです。

<家の人の感想>ひとつひとつの場面の中に、身近な出来事が書いてあり、1年生にも十分理解できたと思います。日々忙しい毎日のなか、少しの時間でも親子読書を通して、子どもとの心の交流ができる楽しみを感じていきたいと、しみじみと思いました。

(1年生Kさん)

<本の題名>へいわってどんなこと？

<子どもの感想>みんながこの本を読んだら、みんながやさしくなりそうな本で、みんながやさしくなれたらいいなと思いました。

<家の人の感想>平和とは、皆と仲良く、誰にでも優しく、困っている人に声をかけてあげるなど、たくさんの意味があります。世界の人とも、言葉が違って同じ仲間だね。

(2年生Kさん)

<本の題名>いただきます

<子どもの感想>すききらいはいけない。なぜなら、せものびないしげん気がでない。たいせつにそだてられたものだから、すききらいせずやさいをたべたいと思いました。

<家の人の感想>なんですききらいをしてはいけないか、理由がわかってよかったね。これからもたくさんいろいろなものを食べて、元気にあそぼう。

(2年生Nさん)

<本の題名>ヨースケくん 一小学生はいかに生きるべきか

<子どもの感想>ヨースケくんは、ぼくとにいて、よくふしぎなことなどを考えていて、ぼくの家族の中の名前や人数もにいたり同じだな、と思いました。

<家の人の感想>自分の小学生時代が思い出されて懐かしかったです。小学生男子はこんな感じなのか、と不思議に思ったり、笑えたり、自分の経験と重なるところがあって共感したり・・・と大変楽しく読みました。

(3年生Mさん)

<本の題名>絵くんとことばくん

<子どもの感想>小学校4年生の男の子は、おこづかいが500円だから、お母さんに1000円にしてほしいと思っていて、口ではかなわないからポスターを作ってお母さんに訴えようとしているところがおもしろいと思いました。

<家の人の感想>おこづかいを増やしてもらおうという、とても難しい交渉。どんどん変わっていくアイデアが楽しく、あっという間に読んでしまいました。次は、先生や友達が相手の時の伝え方を見たいなあと思いました。子どもとやってみたら楽しそうです。

(4年生Kさん)

※今回は、1～4年生までの感想を紹介しました。次回は、5、6年生の感想を紹介します♪

